

事務事業名 子ども会リーダースクール事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：668

施 策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-19-553
基本事業：	03	青少年の指導者育成	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	青少年の指導者・子どもリーダー数 生涯学習ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるもの の人数）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成19年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内の小学4・5年生 （次年度の子ども会役員の対象となる学年）			【手順】 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会（「市子連」）と研修内容の検討 講師依頼・打合せ 各子ども会育成会（市子連未加入を含む）に開催案内。参加者のとりまとめ 集合研修（1日）を開催。終了後に参加者全員に修了証を交付						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【内容】 子ども会リーダーの基礎知識の学習や企画立案力を養成するため、以下の内容の座学、グループワークなどを行う。 ・子ども会、育成会とは ・子ども会リーダーとその役割とは ・子ども会活動の意義 ・レクリエーション（KYT含む） ・子ども会行事の企画立案方法						
子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営されるようにする。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
スクール参加者数		人	15	18	50	50			50
スクール参加者のうち、子ども会役員になった人数		人	13	15	40	40			40
5．コスト									
事業費	計	千円	4	33	71	71			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般	千円	4	33	71	71			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	777	815	873	71			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		スクール参加者数及びスクール参加者のうち、子ども会役員になった人数ともに若干増加しているが、コロナ禍前の水準から大きく減少したままとなっている。引き続き、事業の周知等に努める。 なお、令和5年度は、育成会（大人）にも学んでもらう機会とするため、育成会にも参加を呼びかけた結果、子どもの参加者18人の他、育成会からも15人の参加があり、大人にとっても、子ども会のあり方を学ぶ研修となった。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		○維持 ●見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
リーダースクール事業の目的である「子どもが主体となる子ども会活動」を推し進めるため、市子連に加入しているかどうかに関わらず参加案内を行っている。育成会の参加も継続し、各子ども会育成会からの参加を促す。また、計画した行事の実施状況を把握し、活動報告等を発信し、事業の啓発を行う。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を目的として平成19年度から事業を開始した。									